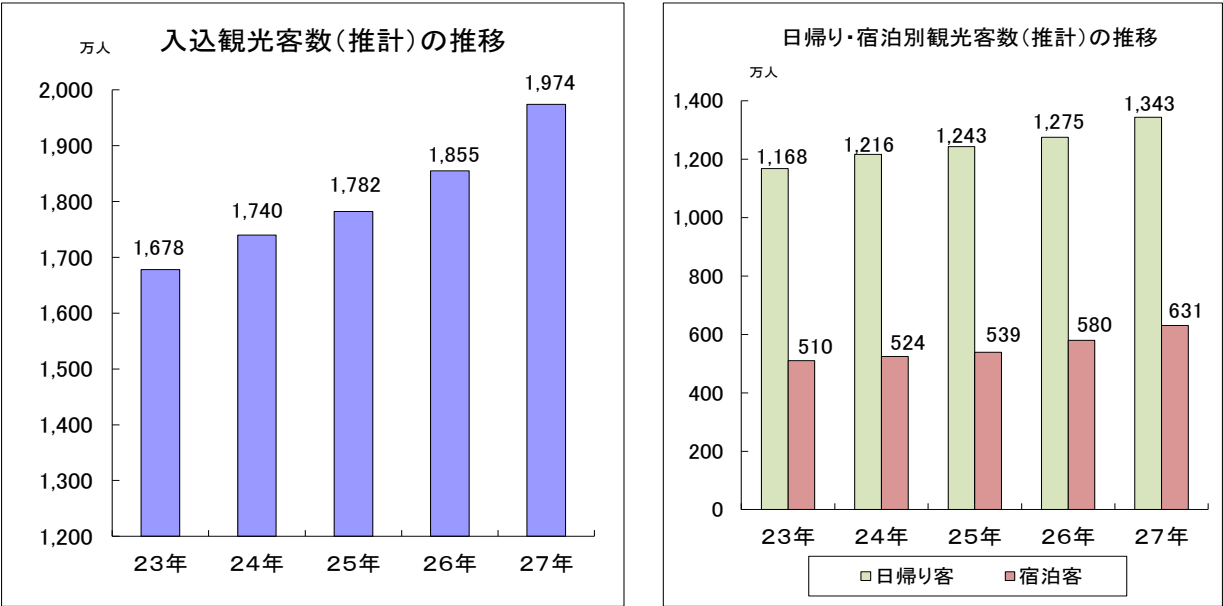


平成 27 年 観光統計の概要 および 平成 28 年 外国人入国者数について

1. 入込観光客数は、過去最高を更新！（4 年連続） 【本編 p1,2 参照】

平成 27 年の福岡市の入込観光客数（推計）は、インバウンドの増加や MICE の増加（国際会議開催件数は 363 件で 7 年連続国内第 2 位）、外航クルーズ船寄港回数の大幅な増加（平成 27 年は 245 回、平成 28 年は 314 回で 3 年連続日本一）などにより、前年比 **6.4%**（119 万人）増の **1,974 万人** となり、**4 年連続で過去最高を更新**した。
また、このうち宿泊客は、前年比 8.8% 増の 631 万人となった。



平成 27 年に開催された主な国際会議・大会

日時	名称	会場	参加者数
2 月 24 日～3 月 6 日	APRICOT 2015 (APAN-APNIC と併催)	福岡国際会議場	835 人
5 月 25 日～29 日	3GPP 通信学会	ヒルトン福岡シーホーク	1,200 人
11 月 9 日～13 日	国際地盤工学会 第 15 回アジア地域会議	福岡国際会議場	1,169 人

2. 宿泊施設の稼働率が上昇 【本編 p3 参照】

平成 27 年・28 年における宿泊施設の客室稼働率については、外国人宿泊者の増加などにより、平成 27 年が前年比 2.8 ポイントの増の 83.2%，平成 28 年が 84.4%（平成 28 年 11 月まで公表）となっている。

客室稼働率（観光庁 宿泊旅行統計調査・従業者数が10人以上の宿泊施設）												（単位：％）	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
28年	80.3	88.7	86.1	83.9	82.0	82.9	84.1	84.7	84.2	83.7	87.7	未公表	(※)
27年	73.4	85.3	83.5	81.0	81.5	77.5	84.6	85.5	85.7	88.0	88.6	83.3	83.2
26年	71.2	80.1	79.3	73.3	86.3	75.7	81.7	83.6	79.1	84.5	87.1	83.2	80.4
27年-26年	2.2	5.2	4.2	7.7	-4.8	1.8	2.9	1.9	6.6	3.5	1.5	0.1	2.8

※平成 28 年 11 月までの平均稼働率は 84.4%

[問い合わせ]
経済観光文化局 観光コンベンション部 観光産業課 吉田・白石
TEL 092-711-4353（内 2567）

3. 観光消費額も着実に増加

観光客の増加に伴い、平成 27 年の福岡市内における観光消費額は、前年比 4.6%（173 億円）増の 3,946 億円と推計される。

観光消費額

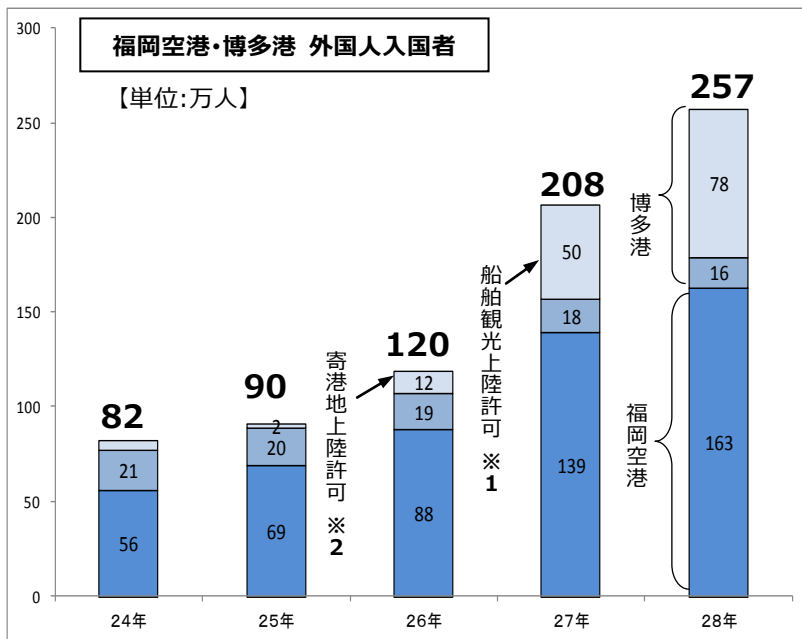
平成 27 年	平成 26 年	増減
3,946億円	3,773億円	173億円

4. 平成 28 年の外国人入国者数が 250 万人を突破！

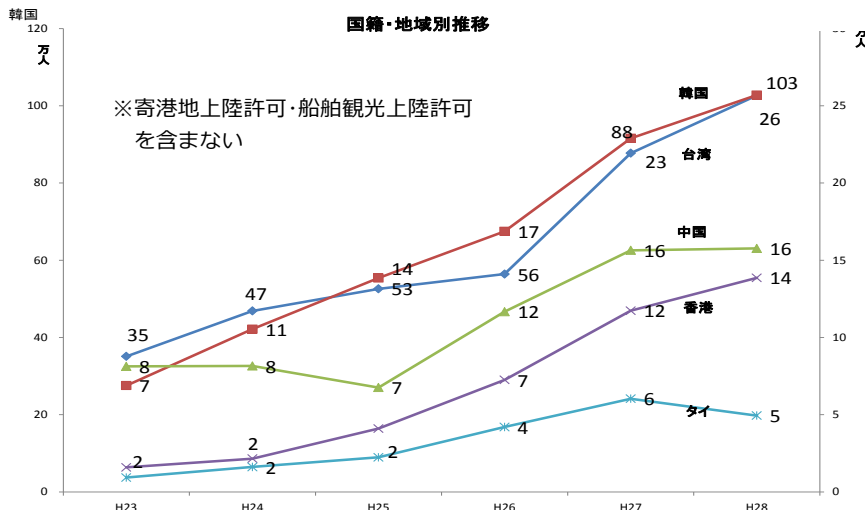
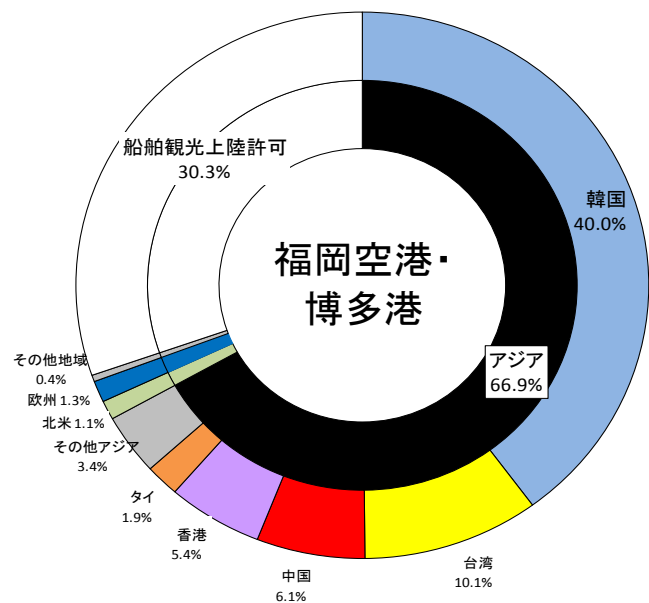
平成 28 年の福岡空港・博多港から入国した外国人の数は、初めて 250 万人を突破し、前年比約 24%（約 49 万人）増の 257 万人となり、5 年連続で過去最高を更新した。

4 月に発生した熊本地震の影響を受け、4・5 月は前年同月比で減少となったものの、訪日旅行の回復や中国からのクルーズ船寄港回数の増加により、船舶観光上陸許可（クルーズ船の乗客）が約 28 万人増加したほか、韓国（約 15 万人増）、台湾（約 2.8 万人増）など、多くの国・地域からの入国が増加した。また直行便の就航により、フィンランドを中心としたヨーロッパからの入国者数も引き続き増加した。

なお、平成 28 年の外航クルーズ船寄港回数は 314 回となり、前年より 69 回増加した。



外国人入国者の構成



※1「船舶観光上陸許可」

H27.1以降、法務大臣が指定するクルーズ船の外国人乗客を対象に創設された新たな特例上陸許可制度。

※2「寄港地上陸許可」

H24.6以降、一部大型クルーズ客船に適用。

なお、どちらも国籍別内訳は公表されていない。
本制度によらず、通常の入国許可となるクルーズ客船もある。
また、他港での寄港により、博多港でカウントされないケースもあることから、クルーズによる寄港入国者の総数とは一致しない。